

山城しゅんいちを応援する会

しゅんいち通信

第15号

討議資料

2023年1月発行

発行:山城しゅんいちを応援する会

住所:坂城町上五明1248-2

TEL/FAX 0268-82-3955

mobile 090-1459-1066

mail yamashiro.shunichi@gmail.com



あなたとつくる みんなとつくる 未来の坂城



山城峻一
(やましろ・しゅんいち)

〈プロフィール〉

- 1983年9月13日生まれ
- 長野日本大学高等学校卒業、日本大学法学部法律学科、放送大学教養学部教養学科心理と教育コース卒業
- 現在、上田市内の放課後児童クラブの指定管理者などをしているNPO法人ワーカーズコープ職員としても、活動中
- ホームヘルパー2級、児童厚生員2級、放課後児童支援員認定資格、認定心理士、2017年認知症サポーター養成講座受講(真田児童館にて受講)
- 議員連盟等
長野県自然保育議員連盟 副会長(新)
信州オーガニック議員連盟
ストップ気候危機!自治体議員による気候非常事態・共同宣言賛同議員

明るい話題が多い年になることを願います

新型コロナウイルス感染症の流行は4年目を迎えることになりました。この年末年始は行動制限がない状況ということもあり、感染予防を徹底した上で活動をしたという話も聞いています。

新聞等でも報道されている通り、新型コロナウイルス感染症に感染し亡くなる方が増加しています。一体いつ収束を迎えるのでしょうか。また今後感染症の行方はどうなっていくのでしょうか。まだまだ注視する必要があります。

一方、新型コロナウイルス感染症以外に目を向ければ、ロシアによるウクライナ侵攻は間もなく1年が経過します。こちらも今後どうなっていくのでしょうか。どのような戦争の終わりを迎えるのかと思うことがあります。

最後に、現下の物価高。給料は上がり物価だけは上がっていく状況。そして様々な格差は広がる一方です。私自身も労働者の1人として、働く皆さんから様々な声を頂いています。

新型コロナウイルス感染症の流行により社会が大きく変化しています。でも、そんな社会が大きく変化する今だからこそ、子どもからお年寄りまでが「みんなで考えること」「みんなで議論すること」が重要だと思っています。

坂城町議会議員 山城峻一の町政報告

12月議会は12月5日から12月16日まで開催されました。主な内容は、坂城町情報公開条例の制定や坂城町職員の定年等に関する条例の一部改正、また、温泉施設持続化負担金を含む一般会計補正予算等を審議し、いずれも可決しました。

なお、今議会では、学校給食無償化やワクチン接種に関する質問始め、多岐に渡る質問を12名が一般質問をしました。

山城しゅんいちがウェブでも発信中!



フェイスブック



ツイッター



ブログ

HPをオープン
しました→



HP

→あゆみさん・作



9月議会の会議録が↑
お読みいただけます

活動報告

◇12月定例会(一般質問)◇

～信州型自然保育について～



Q.自然保育については同様のものを2年前の2020年3月議会でも質問し、今回で2回目である。

「信州型自然保育認定制度」は7年前の2015年(平成27年)に始まった。この制度が出来て以降、県内の各市町村において認定を受ける園が増えている。新型コロナウイルス感染症の影響により地方移住も進んでいる。この都会から地方へという流れの中、自然の中でのびのび子どもを遊ばせている自然保育を実践している園に子どもを通わせたいという保護者いるとのことで、その園では定員を上回る応募があったと聞いている。また、保育園で働く保育士側も自然保育の実践園で保育をしたいというニーズも増えているということも聞いている。



自然保育の情報が詰まっているHP

ちなみに自然保育を推進する議員連盟「長野県自然保育議員連盟」に所属する地方議員と自然保育実践園の職員と一緒に県庁に出向き、阿部知事に対し、「保育士の処遇改善に関する要望書」の提出をした際にこの話を聞いた。

阿部知事は今年7月に4期目の再選を果たし、公約の中で『「信州やまほいく」認証制度を維持・発展させると共に、義務教育課程においてもさらに非認知能力を高めていくことが出来るよう、小学校の学びを幼稚園・保育園教育に整合させることも含めて教育委員会と共に検討します。』とうたっている。この面談の場でもさらに認定園を増やしていけるよう各市町村とも連携を図るとの話があった。

そこで現在の町内保育園における自然に関わる保育の状況は？

A.子育て支援室長:保育園では各園、それぞれ創意工夫をしながら保育活動に取り組んでいる。その中で自然に関わる主な活動は、秋には春に植えたじゃがいもやさつまいもを収穫し、焼き芋大会を実施したり、町の伝統野菜「ねぎみ大根」の種まきや収穫体験の他、土手での芝滑り、冬にはそり遊びやコップにどんぐりや葉っぱ、水を入れての氷づくりをしたり、季節に応じた様々な遊びを取り入れている。

また、園外保育では和平公園やばら公園、びんぐしの里公園の展望台に出かけ落ち葉や花に触れたり、虫を探したり等の自然と触れ合う活動の他、お散歩に出かけ、道端の草や花、川の流れ等の日常的な風景を毎日見ることで天気や季節による小さな変化を体験し、豊かな感性を育む活動をしている。

Q.現時点での県内の自然保育の認定園数は？

A.子育て支援室長:「信州やまほいく」には「特化型」と「普及型」の2つの区分がある。

「特化型」は、屋外での活動が週合計15時間以上の他、通算2年以上の自然保育活動の指導経験者が常勤保育士の半数以上であることが要件となっている。一方、「普及型」は、屋外での活動が週5時間以上の保育園・幼稚園が対象となっている。

2022年10月現在、認定園数は「特化型」が15園、うち公立保育所は伊那市の1園で、近隣では千曲市の認可外保育施設「さらしなの里自然保育ほっこ」がある。一方、「普及型」は255園あり、うち公立保育所は162園となっている。

Q.当町においてもこの制度を活用していく考えはあるか？

A.子育て支援室長:「信州やまほいく」の基本理念は当町の保育園でも積極的に取り入れている。

一方、登録に当たっては外部研修への参加や対外的な事例発表を行う保育士がいること等が要件であり、登録後は毎月の計画書の作成や事業年度終了後の活動報告書が必要になる。「信州やまほいく」の登録については保育士の負担等を考慮する中で引き続き研究していきたい。

～ともに生きる障がい者福祉について～



Q.11月25日に千曲市の信州の幸(めぐみ)あんずホールにおいて「令和4年度 千曲・坂城地域自立支援協議会 第2回全体会」に参加した。全体会には途中参加になったが、第1部の「楽団ケ・セラ」のコンサートは心が熱くなるものを感じた。特にアンコールの「上を向いて歩こう」は自然と自分も歌詞を口ずさんでいた。

第2部の講演会は千曲市精神障害家族会の方からお話を聞いたが、講演の最後に話されていた「障がい者が住みやすいまちは誰もが住みやすいまち」という言葉に納得である。

そこで、この千曲・坂城地域自立支援協議会の事務局を千曲坂城障がい者(児)基幹相談支援センターが担っているわけだが、当センターの現状(職員体制・事業内容)は?また当センターの職員が持っている資格は?

A.健康福祉課長:センターの事業内容・役割については、行政や社会福祉協議会等関係機関と連携し、ワンストップとしての機能を果たすため、総合的・専門的な相談支援に努め、地域で支える体制作りをしている。

また相談支援事業者に対する専門的な指導や助言、人材育成支援や成年後見制度の利用促進等権利擁護や虐待防止等も行い、支援の必要な方が支援の必要な時に受けられるように努めている。

職員体制については、センター長の他、相談支援員5名、事務局員1名、計7名で運営及び事業を実施。相談支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士、保健師の資格を持つ職員が配置されている。

Q.町の第6次長期総合計画の中に今回の質問のテーマにもなっている「ともに生きる障がい者福祉」という項目がある。

その中には様々な目標が記されているが「障がい者団体の活動を支援し、障がい者や家族が社会活動に参加しやすい体制づくりを進めます」とあるが、具体的にどのような取り組みを行っているか?

A.福祉健康課長:町内にある身体障害者協会や手をつなぐ親の会、精神障がい者家族会等、それぞれの団体が障がいの自立や社会参加、福祉の増進や生きがづくり等を目的に設立され、町では、各団体が独自に行う事業に対する補助金による支援と事務局として活動を手伝う人的な支援を行っている。

また、障がいのある方本人やご家族の負担を減らし、社会活動や交流の機会を作りやすくするため、身体機能を補完・代替える義足や補聴器等の補装具費支給制度や移動が困難な方の外出を支援する同行援護、移動支援事業の他、福祉タクシー利用券や身体障害者用自動車改造費補助制度等を整えている。

Q.「障がいの自立生活と社会参加を支援するため、地域活動支援センターの充実を図ります」とあるが、地域活動センターの日々の取り組みとは何か?また登録されている人数と日々活動されている人数は?

A.福祉健康課長:在宅で心身に障害のある方が生産活動や生活訓練等を通じて、規則的なリズムを身に付け、お互いに親睦を図りながら生きがいある生活が送れるよう支援を行っている。取り組み内容のうち、生産活動としては、織物や手芸品等の自主製品作りや町内企業から受注した作業を行い、生活訓練としては、洗濯や清掃等の当番活動や料理教室、買い物ツアー等を実施している。文化活動としては、季節に応じた野外研修や音楽教室、創作活動を行い、また季節に応じた行事等も行っており、利用者が地域の中で自立した生活が送れるよう様々な活動に取り組んでいる。

当センターには11月末現在の登録人数は身体に障がいのある方4名、精神に障がいのある方8名、知的に障がいのある方3名、計15名の登録がある。また、登録人数の内訳は10代及び20代が2名、30代が2名、40代が4名、50代が3名、60代が2名、70代以上が2名である。現在、1日当たりの活動人数は新型コロナウイルス感染症の完全防止の観点から、午前午後とも7名までに制限して活動している。

Q.「心のバリアフリー化を図るため、障がいの有無にかかわらず、ともにふれあい、交流する機会をつくるとともに、互いに個性を尊重し合う社会の実現に向けて啓発活動を推進します」とあるが、どのような取り組み、活動を行っているか?

A.福祉健康課長:啓発活動の1つとして、12月3日に開催された「人権を尊重し豊かな心を育む町民集会」は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、人数制限を行った上で開催し84名が参加した。

町民集会では坂城小学校4年生の人権学習の発表を行い障がいのある方からのお話や障がいの疑似体験を通じて考えたこと、自分達に出来ること、周りの理解や思いやりが必要であること等についての学習の成果の発表があった。

また、パラリンピック競泳金メダリストの成田さんを講師にお迎えし、「自分の可能性を求めて」と題した記念講演では、水泳を始めたきっかけやパラリンピックに出場した思い、また自分の体験から日頃、障がいのある方が感じていることとお話し頂いた。

こうした活動を通じ、障がいの有無や程度に関わらず、誰もが個性や違いを認め合い、相互に理解を深めるとともに共に支え合う地域社会を目指し、実現するために引き続き社会福祉協議会等関係機関と連携して、啓発活動等に取り組んでいきたい。



令和4年度千曲・坂城地域自立支援協議会
第2回全体会で販売していた
ボールペンとストラップ



マウンテンキャッスル

～今年のご目標～



コーナー名の由来……山城を英語にすると「山」は「Mountain(マウンテン)」「城」は「Castle(キャッスル)」からこの名前にしました。

はう



今年のご目標として、余裕を持った大人になりたいと考えています。去年は社会人一年目で仕事に慣れることに精一杯でした。なので2年目を迎える今年は、忙しい中でもリフレッシュする時間もしっかり取れるように過ごしたいです。そして、少しずつ家事を学びながら家計を助けられたら良いなと思っています。

ぶどう



今年のご目標は2つあります。1つ目は、将来の夢のために無駄遣いをしないことです。これから大人になるためにお金の管理の仕方を今一度見直せる機会になると思ったからです。2つ目は、早寝早起きをしたいです。時間厳守を心掛けていきたいと思ったからです。

10月の活動履歴

- 1日 フードドライブ活動(上田市)
- 2日 第9回武志会マレットゴルフ坂城地区大会
2022長野県協同組合フェスティバル(長野市)
- 4日 坂城男女共同みんなの会運営委員会
- 7日 議会報編集特別委員会
- 8日 若者の生きづらさを考える意見交換会(長野市)
- 9日 鉄道フェスタ in さかきプチ
- 10日 芋掘り作業
- 12日 大人からのあいさつ運動
- 13日 議会報編集特別委員会
- 16日 長野大学文化祭(上田市)
- 17日 議会報編集特別委員会
- 19日 社会文教常任委員会視察研修(富山市)
- 20日 社会文教常任委員会視察研修(白山市)
- 22日 坂城町文化祭
令和4年度坂城町表彰式
令和4年度坂城町文化協会高齢者功労表彰式
令和4年度坂城町社会福祉協議会表彰式
- 23日 坂城町文化祭
- 24日 議会全員協議会
坂城男女共同みんなの会打ち合わせ
議員の学校(1日目)(オンライン)
- 25日 議員の学校(2日目)(オンライン)
- 27日 市町村議会議員研修会(オンライン)
- 28日 要望書提出(長野市)
「男と女ふれあいさかき2022」第2回実行委員会
- 29日 TDU・零穿大学当事者研究イベント(オンライン)
- 31日 後援会報打ち合わせ(長野市)

11月の活動履歴

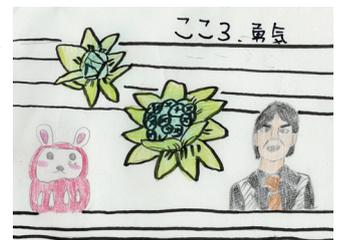
- 2日 坂城男女共同みんなの会打ち合わせ
- 4日 市町村議会議員研修会(オンライン)
六ヶ郷用水組合議会全員協議会
六ヶ郷用水組合議会定例会
- 5日 フードドライブ活動(上田市)
全国オーガニック給食フォーラム(オンライン)(アーカイブ)
長野県地方自治政策課題研修会(オンライン)(アーカイブ)
- 6日 社会連帯Tokyo総会(オンライン)
- 7日 市町村議会議員研修会(オンライン)
- 8日 オンラインセミナー「居場所づくりは地域づくり」(オンライン)
- 10日 六ヶ郷用水組合議会視察研修(清水町)
- 11日 六ヶ郷用水組合議会視察研修(伊豆の国市)
- 12日 ねずみ大根まつり
女と男ふれあいさかき2022
- 16日 大人からのあいさつ運動
- 18日 びんぐし湯さん館竣工式
- 19日 びんぐし湯さん館リニューアルオープン
さらしなの里自然保育ぽっこ餅つき大会(千曲市)
- 21日 議会全員協議会
- 23日 ホームページ打ち合わせ(長野市)
- 25日 千曲・坂城地域自立支援協議会 第2回全体会(千曲市)
パートナーシップさかき編集会議
- 26日 東信地域労働者協同組合法施行記念フォーラム(上田市)
- 27日 長野大学坂城町講座

12月の活動履歴

- 2日 坂城男女共同みんなの会打ち合わせ
- 3日 フードドライブ活動(上田市)
- 4日 ふっころフェスティバル2022(オンライン)(アーカイブ)
- 5日 町議会定例会開会
協同労働実践交流集会2022(オンライン)(アーカイブ)
- 7日 長野県議会傍聴(オンライン)
- 10日 長野大学坂城町講座
子どもの権利条約フォーラム2022 in 沖縄/那覇(1日目)(オンライン)
- 11日 子どもの権利条約フォーラム2022 in 沖縄/那覇(2日目)(オンライン)
- 12日 一般質問
- 13日 一般質問
- 14日 一般質問(15回目)
社会文教常任委員会
- 16日 町議会定例会閉会
- 17日 後援会報打ち合わせ(長野市)
- 19日 国道バイパス整備現場見学会
- 20日 議会報編集特別委員会
- 21日 坂城男女共同みんなの会打ち合わせ
- 24日 クリスマスさかき子ども食堂
- 27日 議会報編集特別委員会



→あゆこさん・作→



●友人から一言●

山城さん いつもありがとうございます。山城さんの笑顔でいつもよっし頑張ろうと気持ちになり、くじけそうになる時、山城さんの顔を思い出すとなんかいつもの私に戻るんですよ。。。やっぱり、山城さんの力すごいです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、どうぞ、よろしくお願いします。(あゆこさん)

◆特急あさま◆

今回はちょっと「鉄分」の高いお話でも。
坂城駅前に保存されている169系電車3両編成。実は博物館等で1両単体での保存は多いですが、電車が「編成」のまま保存されているのは全国的にも珍しかったりします。
ちなみに「クハ」は先頭車、「モハ」はモーター車、「クモハ」は先頭モーター車という意味だったりします。是非今度チェックしてみてくださいませ。(大学の友人 倉地 大より)

